

### 静岡県労働組合評議会

〒420-0851

静岡市葵区黒金町55番地 交通ビル3階 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973 EX-N kenpyo@cy.tnc.ne.jp

### 国道469号線超えのロケット砲線等川線反対

ディングが行 怒り ット砲を撃つ

富士駐屯地へのミサイル配備撤回を

東富士演習場においてよる緊急抗議スタン でよる緊急抗議スタン でよる緊急抗議スタン を差点(裾野市側)に を差点(裾野市側)に で差点(裾野市側)に で表点(裾野市側)に でよる緊急抗議スタン

前日まで愛知で開催を攻撃する。その一大拠点を攻撃するための訓練を攻撃するための訓練を攻撃するための訓練を攻撃するための訓練を攻撃する。その一大拠点 ようとしています」 反対する声 士演習場がさ

25年秋季年末闘争

「対話と学びあい推進、仲間増やし集中期間 2025年6月末時点 の全労連の組織現勢は87 人から5年で10万人の組 合員数減となりました。 7月の第67回評議員会で 労働者の実質賃金低下に 歯止めがかからないなか、 たたかう労働組合を強く たたかう労働組合を強く たきくする決意を固めあ い「集中期間」に取り組 む事を決定しました。 組みます。

全労連は25年10月30日に「『対話と学びあい』推進・全労連は25年10月30日に「『対話と学びあい推進、仲間を出り、1月から2月までを「対話と学びあい推進、仲間増やし集中期間」(以下集中期間)として、仲間を増増やし集中期間、は下集中期間)として、仲間を増増やし集中期間、は下集中期間)として、仲間を増増やし集中期間、は下集中期間、として、仲間を増加しました。11月から2月までを「対話と学びあい推進、仲間増やし集中期間、キックオフ集会」を開催しました。11月から2月までを「対話と学びあい」推進・全労連は25年10月30日に「『対話と学びあい』推進・全労連は25年10月30日に「『対話と学びあい』推進・

広がる組織的困難と

本に、会議の進め方、団体 を活動参加が少ない」 「役員のなり手がいない」 「役員のなり手がいない」 「地域のとりくみに結集 できない」「要求論議の できない」「要求論議の できない」「要求論議の 半数の組織化をめ、 を増やすことを徹底する、を明確にして日常的に仲間

前日まで愛知で から榊原事務局次長60人以上が参加し県

衛隊の「ロケット砲 対撃は1回限り」とい が衛省が8月29日に国 を長射程ミサイル(ス を長射程ミサイル(ス が衛省が7000 がある。今回の訓練は、 を長射程ミサイルの 屯地 防衛省は当初陸 度に富士駐 に配 上自

労働者 訴えました。 聞

が評は

求めるとともに、配備(仮称)」を結成し詳(仮称)」を結成し詳まが、のではのの会がない。 そのものを中止す求めるとともに、 化する危険性が含まれ います。  $\mathcal{O}$ 要 するたれ

を封鎖した訓練が日常る計画の先取りで国道

での対話が減っており、対て労働組合から遠ざけられて労働組合から遠ざけられが浸透し、我慢が強いられ 単産・地方組織で共通の課話できる人を増やすことが に対するあきらめや無関心れ、労働者にたたかうこと 業の労働者の い」「組織の財政が厳しい」交渉のやりかたがわからな これら 切り 捨て、 る、 た労働 「対話と学びあい」から「要求の求心力で組織拡大」する概念図

相談や組合員の困り

践があります。職場、地域り返し声をかけるなどの実齢・職場が近い関係から繰が出し合える場づくり、年

践があります。り返し声をかけ

で労働者がつながり、

連帯

せら

が出し合える場づくり、者が持っている要求、本

この間前進している組織 仲間を増やす実践の特徴 職場で過 ンネのトーク会」など労働

成功体験によって労働組合の意義の理解が広がり組合員が新しい仲間を増やすサで組織拡大を前進させている組織の教訓を学びあう、組合員の困りごとから少人組合員の困りごとから少人組合員の困りごとから少人 合づくりや運動化をすすめごとに集団的に対応して組 体験する生協労連の「お試 し分会」福祉保育労の「ホ 身近な要求を実現する

題にあげられてい

ます。

の是正や賃金の底上げ、雇たかう姿を示すこと、格差ています。ストライキでた

となど組織化と一体でのと者に寄り添ってたたかうこ の要求実現、企業のリスト用の安定など非正規労働者 りくみがあります。 ラに対して一人一人の労働の要求実現、企業のリスト

取り組みます。論を高めていく運動 ミサイル配備反対の世 宣伝行動や署名など、

岡県評からは「子ども

問わず交流できた事は本当 濃い日を過ごす事ができま な単産の方や、年齢性別を らは「3日間大変学びの参加した黒田常任幹事か と学びあい』が大事にされ に自分にとって宝物になり ている時間で、全国の色々 した。兎にも角にも『対話

ら20時に26春闘実践講座 としてオンラインで開催さ 月第3金曜日18時30分か

抗議行動の様子

日目の全体会の様子

組合の実践とつながっ 難の解決や要望などが

要求実現の道筋・成功体験を共有する

実現・解決する

プランを当事者と

立てる

役員だけでなく当事者と戦略を立てる (分析、調査、学習なども)

組合員·労働者

対話と学びあい

何が要求か、直面する困難はなに か、聞くところからスタート

要求実現

成功体験

パワーの源である 仲間を増やす 要求実現には仲間が必要。特に実現し ようとする要求の当事者や関心・理解のある人を組織化する

たとき、労働者の組織化の条件が広がります。 **してたたかう26春闘へ してたたかう26春闘へ** 新歓期の新入社員・職員 の拡大だけでは退職者(中 途含む)を上まわる組織拡 大にならず、再雇用の労働 者や非正規労働者なども対 を増やすことに成功するこ とが大幅賃上げの実現での とが大幅賃上げの実現での とが大幅賃上げの実現での

1)引制的・主体的なロックで体制をとり「組産、地方・地垣糸糸 築」の具体化をすすめ 参加による強い組織の構

2024.6.21 Ver.2

オルガナイザー

オルグ (組織者・役員) は、説得す るのではなく、話を聞く。そして、 その中でその人との関係をつくる。

振り返り・総括

振り返りが重要。さらに仲間を増 やしながら要求実現までたたかう

要求実現の行動 団体交渉・ストライキ プランに基づいて要求実現に向けて行 動を起こす。ストライキを準備する

にたかう労働組合を しよう。

強く大きく

5(レイバー・ユニオン・カレッジ通称レバカレ)」を東京都内で開催し全国から700分科会と二つの全体会で、当事者同士が労働運動の実践や教訓を交流し、や力を学びあいました。 ステージへ」をテーマにたたかう労働運動を新たなら13日にかけて「日本の全労連は、10月11日か 「労働運動交流集会202 全労連がレバカレ開催

ションも組織強化につながっ

や団結を感じられるレクレー

あなたは何を変えたいか」 たちにもう1人保育士を 組合の未来は誰がつくるの 2日目の全体会では「労働 では「レバカレってなに? 研究」の分科会を担当しま 動の土台となる学習・調査・ と静岡県労働研究所が「運 ションしました。 か」をテーマにトークセッ した。また、初日の全体会 〜労働組合が社会を動かす」

ます。 ました」と感想を述べてい つの分科会は11月から毎 レバカレで好評だった6

産、地方・地域組織、ブールで進めます。職場要求のを進めます。職場要求のかりに、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、 践を広げることです。 在意義と労働組合の良さ を組合員が実感できる実 集中期間では「組合に 対話と学びあいを 組合の存

して「運動の土台となる 連のレバカレの分科会と が開催されました。全労

題

の学習・調査・

策能力の向上について指に参加し、労働組合の政

摘されました。

分科会では最初に静岡

静岡県労働研究所N099

田・榊原両氏で行いまし県労働研究所の紹介を多

れました。

た。その後、中澤氏より

「最低生計費試算調査」

問題、

## 国民大 運動実行委員会

県担当者と懇談を行いました。この実行委員会は、 求める」国民大運動静岡県実行委員会が10月29日「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を 当日の参加者は、 静岡県商連、 延べ60人を超えました。 興、原発をなくす会などが参

賃金の問題では、来年の最 模災害などに対する対応」 積極的な働きかけ」「大規 最低賃金審議会に対しての な交渉を行い、 低賃金改定にむけて中小・ 委員の選任基準」の6項目 の下限の賃金設定」「静岡 できるよう取り組みました。 編成に私たちの要望が反映 ア新幹線についても積極的 小規模事業者への積極的な 「リニア新幹線トンネルエ 「静岡県労働委員会労働者 要望を出しました。最低 静岡県評は「公契約条例 「ジェンダー平等」 最賃審議会へ 来年度予算

た。静岡県が抱えている大 きな問題の浜岡原発とリニ など多岐にわたるものでし 要望は43項目で、教育 平和問題、 業者問題

県商連大石会長と菊池議長静岡県に要望書を手渡す

根拠を5

明確に 要求の

月12日、

定例研究会

東京の会場とオンライン多田氏が報告しました。

一氏と事務局の榊原氏・研究」と題して、中澤秀

中澤秀

で静岡

からも参加し、全

知事の意見書をはじめとし ました。リニア新幹線トン リスク管理の問題について 修正を条件として完了した 話の全てが「田代ダム取水 ネル工事では、6月2日に と明言している事などを指 善できるよう関与していく」 基に、リスク管理をより改 査などで得られるデータを てやるべきことがたくさん 会見で「まだ専門部会とし 森下部会長は部会後の記者 と発表しました。しかし、 フロー」のフローチャー 抑制案におけるリスク管理 水資源に関する6項目の対 環境保全に関する対話の、 静岡県の間で行われている 源専門部会で、JR東海と 開催された地質構造・水資 会に毎年行うことを要請し て意見表明を最低賃金審議 今後のボーリング調 問題は解決されてい

に参加し、労働組合の政連の秋山議長も本分科会体で30数名でした。全労 効果の算出に取り組んで円になった時の経済波及 討論では、最賃1500持っている人たちでした。 することの難しさも話さ 青年や現役労働者が参加 また学習・調査・研究に まで参加したり、興味を いる経験も話されました。 が最低生計費調査にこれ 会場参. 加者の9割近く

にしていくことが重要と 現していくためには、 働  $\mathcal{O}$ 組合で要求を出して実 根拠となるものを明 最後に中澤氏より、

> 担当者は、現在協議中で るように求めました。県の 考えると容認できず再考す いては大井川の河川のすぐ島沢の付近での盛り土につ 横であり将来的なリスクを 土」の盛り土について、藤 だしました。また「要対策 ないとし静岡県の考えをた

どの意見が寄せられました。 加者からは「県の回答を聞りも時間が短縮され交渉参 年は時間の確保が必要」 の時間がとれなかった。 くだけで有意義な意見交換 ないなどと回答しました。 あり具体的には決定して 今回の対県交渉は前年よ

# 人間らしい生活を! 命を守る第10回県民のつどい

第1回の講師の大内裕和 た。あれから10年。 貧困~奨学金問題~」でし ある中で第1回のつどい を開催しました。 センターにて県民のつどい さん(武蔵大教授)をお迎 10回目を迎えました。格始まったこの取り組みも えして11月1日ロッキー はよくなったのでしょうか? で選択したのが「大学生の 差と貧困が顕著になりつつ 「反貧困のつどい」として 状況 費や奨学金返済の負担軽減 事者の学生と、中高年齢層 より通告されています。当 てきて、学費値上げが当局 なくありません。そこへもっ くなっています。 が一体となって「高等教育

となっています。 今や半数以上が奨学金を得 2割にも満たなかったが、 昔は、奨学金利用が学生の なり奨学金の返済をかかえ、 がほとんどで貧困ビジネス するのが遅れたといえます。 ギャップにより社会問題化 が現実。奨学金も利息付き て学生生活を送っているの 奨学金の問題は、世代間 就職する

のため、

公的負担の大幅拡

充を求めます!」の運動に

して、

会社及びコンサルタントと

工やこれらの指導に長年従トンネルの計画・設計・施

いのき 活を! 人間 の実 り越; させられました。 ていったらよいのかを考え にどのように私達が関わっ

講演する大内氏

報告する中澤氏

性を報告しました。研究者の共同作業の重要

の紹介を行い、

No. 109 には、官僚らが徹夜した。そして何より官邸 委員会の日であった。 ずっと早くから準備 て初めての衆議院

## 職場の安全衛生を実現するために

とはなっておらず、生活の 度改善の運動が進められ、 若者の生活は困窮し、未来 ため、学費のためにアルバ すべての学生に届く改善策 制度改革もされましたが、 イトに翻弄される学生は少 に展望をもつことができな 奨学金制

ジウムを行いました。若者 の実態がよくわかり、 返済の当事者によるシンポ をしている人、学生助けた 取り組みましょう。 活動をしている人、奨学金 いんじゃーでボランティア している人、学習支援活動 講演の後、 アルバイトを そこ

者を支えるみんなが、 して暮らせる社会を求めて 会保障に目が行かない社会 一致団結してたたかおうと になりそうな今、若者と若 政府が替わり、教育や社

J R 東海が主張する リニア差し止め 転手と護衛には迷惑をとがネット上で問題に員である。後刻このこ員である。 約100名という。 て待っていた。推立 湧水低

市氏の登場である。ある。そして今また高

減 訴

[頭弁論

るトンネル技術士の大塚正19日に証人尋問が行われ回の原告側は、次回12月 幸さん意見書(骨子)の一 弁論が実施されました。今リニア裁判の第19回口頭 述しました。 部を西ヶ谷弁護士が意見陳 鉄道建設公団、民間建設 19日に静岡地裁にて 大塚氏は

大井川の命の水と ルプスの自然音写

の貯留が予想され、その流として、大量の被圧地下水境の特徴に起因するリスク 弱な地層も存在し、トンネなること。また、一部に脆出への対処が非常に困難と とから、 強大な土被り圧が加わるこ ることなどを指摘していま ルの膨大な変形等が発生す ることによるリスクとして、 「①南アルプスの地質環 ②大深度地下を掘削す

## の検討を指示した。や古や「労働の規制緩和に就任する。 11月7日金曜日

算 0 まっしぐら。政治家で 対しては気にも留めな 対しては気にも留めな がった。過労死への道

た。

11 月

は過労死等

にパワハラ・長時間勤告された。最後に実際設会社の取り組みも報

会社の取り組みも報話された。焼津の建

危うく自殺を考えたと務で精神疾患を患い、

いう方の匿名報告もあっ

日は首相高市氏に

データがあるという) 過労労災事案の全ての

疋

でし

これほど労働者の命と をおい。 をおい。 をおい。 をおい。 がランシップで「過労 が一方」と が一方の音川徹氏が「過労 が開かれた。 がに関する労災 防止啓発月間である。 「カローシ」をそのま た日本の過酷な労働状 た日本の過酷な労働状 法を超党派で作り、厚 持省主催・県後援で11 月に過労死等の防止に 向けた取り組みをして いるにも関わらず、相 のるにも関わらず、相

0 0

スクを2点あげています。 策を挙げているが、防水シー水シート、薬液注入の各施ト、 覆エコンクリート、防 水は未知の領域だと指摘しる水圧で噴出する可能性がる水圧で噴出する可能性がの 無対 た、覆工コンクリートに止る効果は期待できない。まものではなく、湧水を妨げ 12月19日11時から原告証摘しています。次回は、 減効果は、全くない」と指 挙げる各施策による湧水低 ともない。などJR東海が もクラックの発生を妨げるず、吹き付けコンクリート トンネル湧水の低減措置と ました。また、JR東海が して、吹き付けコンクリー 水効果があるなどというこ トは止水を目的としておら =水深5

危惧される主要な事象やリ プストンネル工事で発生が 介し、その経験から南アル 事してきました」と経歴紹

裁判後の報告集会の様子